

1. 事業説明シート

(区分) 国補 県単

事業名	事業箇所	地区名	事業主体
急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業(国補)]	笛吹市境川町大窪	大窪（オオクボ）	山梨県

(1) 事業の概要

①課題・背景

大窪地区は山梨県中央の笛吹市境川町に位置する急傾斜地であり、平成22年10月28日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。
当該斜面は平均斜面高43m、平均勾配32度の急傾斜地であり、保全対象は人家11戸であることから、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響ある災害が発生する恐れがあるため、事業の実施が急務である。

②整備目標・効果

□主要目標 ○崖崩れ被害の防止

- ・災害実績
- ・保全人家戸数 11戸>5戸以上※
- ・重要公共施設の有無 無
(保全対象：人家11戸、市道L=200m)

※評価基準値

□副次目標 ー

□副次効果 ー

(2) 整備内容

①整備内容 重力式擁壁工 H=3.5~5.5m L=200m

②着手年度 令和8年度 **③完成見込年度** 令和15年度

④総事業費 約300百万円
(国費143百万円(4.5/10)、県費143百万円(4.5/10)、その他15(0.5/10))

⑤年度別の整備内容 (事業費)

令和8年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20 百万円
令和9年度	用地測量、用地取得、立木補償	10 百万円
令和10~15年度	重力式擁壁工	270 百万円

(3) 事業の妥当性評価

①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）

急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当。

②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）

急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当。

③経済妥当性

総事業費	300 百万円	工期	R8~R15	基準年	R7	
経済効率性	費用	249 百万円	便益	1022 百万円		
	建設費	248 百万円	一般資産被害抑止	191 百万円		
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	11 百万円		
			人身被害抑止	70 百万円		
			その他※	750 百万円		
	B/C			4.1		

※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失)
費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。

④事業実施・規模の妥当性

地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。

⑤整備手法の有効性

地形・地質状況から最も効果的かつ経済的な工法とした。

⑥環境負荷等への配慮

環境負荷の少ない工法を採用する。

⑦事業計画の熟度

地元要望に基づいており、笛吹市から受益者負担金の同意は得られている。

総合評価

(4) 事業位置図等

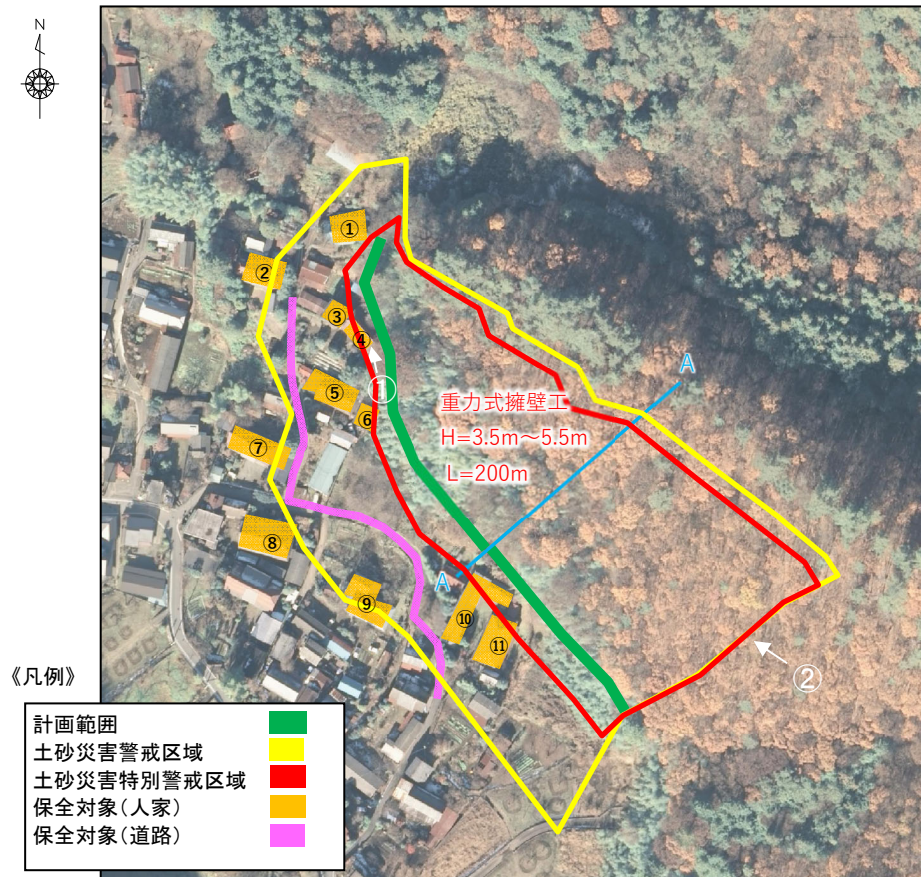
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費

未整備

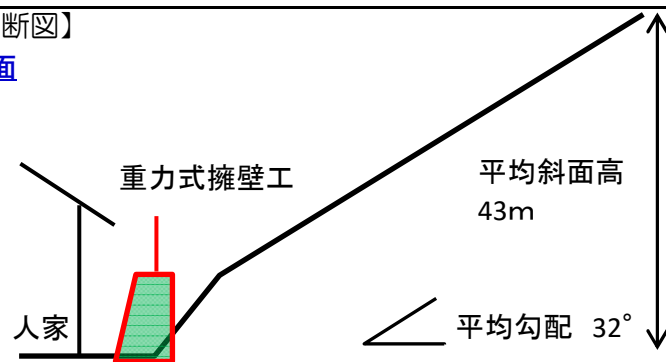
2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】

A-A'断面



【写真①】 保全対象および斜面状況



【写真②】 斜面状況

